

発 刊 の こ と ば

重要農作物の病害虫に対する効率的な防除技術が、安定高位生産の一つの大きな支えとなっていることは言うまでもないが、こうした成果が、関係研究の着実な進展と防除行政面における適切な諸施策の実践とによって、生まれたことは否定できない。

とくに四国は、狭いながらもバラエティーに富んだ地域だけに、病害虫関係でも多くの問題をかかえ、関係者は古くからその対策に腐心されたと聞いている。その結果、とくに研究面では、いもち病やメイチュウなどの重要病害虫に対する画期的な防除技術が生まれた。このような歴史的背景のもとに昭和29年、四国地域の植物防疫行政および試験研究に携わる方々、また防除資材の供給整備を受け持つ会社・団体などが一体となって、地域の重要病害虫防除に必要な知識を交換し啓蒙し合い、より適切な防除施策について協議し、地域農業の向上発展に寄与するために、“四国植物防疫研究協議会”が発足した。

このたび、さらに会員諸氏の熱意と努力が総って、研究活動を中心とする本会の成果が、“四国植物防疫研究”として定期的に刊行されるはこびになったことは、誠によろこばしいことである。

本誌が四国地域における植物防疫事業発展のバロメーターとして、着実な歩み続けることを心から祈ってやまない。

昭和41年11月

四 国 植 物 防 疫 研 究 協 議 会 々 長

松 林 実